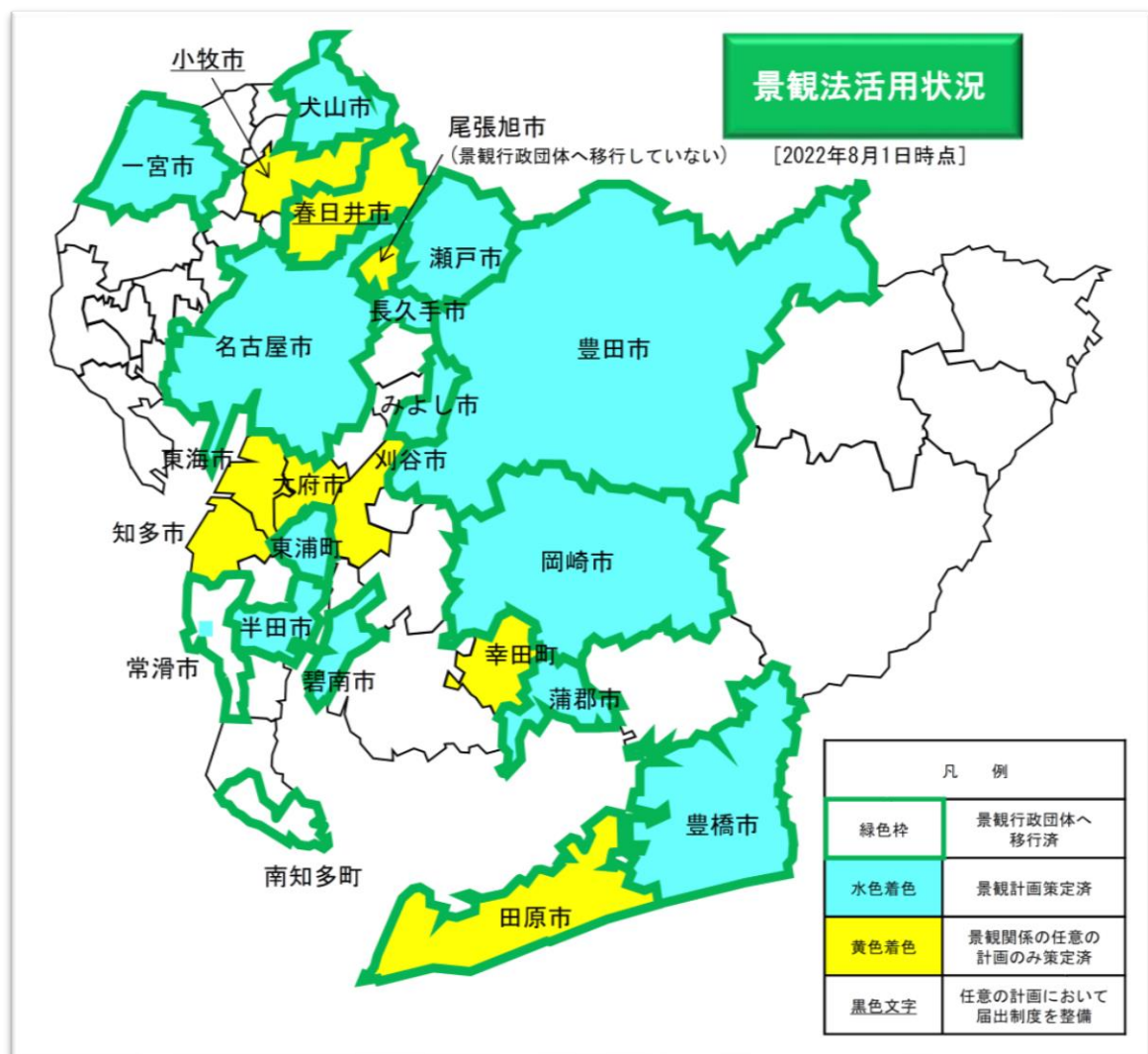


碧南市の取り組み

1 愛知県における景観行政団体への移行状況

愛知県では、令和4年8月1日時点で54市町村の内、碧南市を含め17市町が景観行政団体へ移行しています。



2 碧南市の取り組み

(1) 行為の届出及びチェックシートの提出状況と地域説明会の開催状況

(令和4年9月末実績)

制度	制度の概要	対象区域	提出時期	R4年 9月末 実績	条例 への 記載
行為の 届出	行為をしようとする者が届出対象となる行為を行う場合、建築計画等に関する書類を届け出ること、景観形成基準への適合を確認することを目的とした制度。	市内 全域	行為着手の 30日以上前 に提出	19件	○
チェック シートの 提出	住宅や事務所等の小規模な建築や行為の届出対象となる行為などにおいて、市民や事業者など行為をしようとする者へ「良好な景観の形成」に対する意識啓発を図ることを目的とした制度。	市内 全域	設計から完成 までの間に提出	99件	—
地域説明 会の開催	行為をしようとする者が生活ゾーンにおいて、一定規模以上の建築物の建築等を行う場合、地域住民が参加する説明会等の手法を用いて、その建築計画等を説明し、良好な景観の形成を促進することを目的とした制度。 ※他法令等に基づき説明会等を行う場合はこれと兼ねることができる。	生活 ゾーン	行為の届出前 に実施	2件 (雁道町) (緑町)	—

(2) 景色づくりロードマップ（景色づくり計画より抜粋）

わがまちの景色を知り、考える取組

名称	短期 2021~2024	中期 2025~2027	長期 2028~2030	市	事業者	市民
市民アンケート	景観・景色の関心度 80%以上を目標			○	○	◎
地域説明会	対象規模の変更を検討			○	◎	○
チェックシート	対象規模の変更を検討			○	◎	◎
啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・景色づくりシンポジウム等 ・表彰制度 ・パネル展示による取組の紹介 ・景色づくり学習の場の提供 			◎	○	○

身近な景色をつくる取組

名称	短期 2021~2024	中期 2025~2027	長期 2028~2030	市	事業者	市民
清掃・美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンピーときれいな街づくり事業 ・碧の道里親プロジェクト など 			○	◎	◎

特性や資源を活かす取組

名称	短期 2021~2024	中期 2025~2027	長期 2028~2030	市	事業者	市民
（仮称）景観重点地区の指定	□ □ □	必要に応じて、指定		◎	○	◎
景観重要建造物及び景観重要樹木の指定	指定件数 10件を目標			◎	○	○

（注） ◎：実施主体、○：支援・参加

(3) 景色づくり出前講座

実施日：令和4年9月22日

対象者：碧南市立棚尾小学校6年生 約120人

時 間：3クラスを各45分

テーマ：美しいまちってなんだろう



(4) 景観に関する市政アンケート（令和4年度）

【質問】

碧南市景色づくり計画や景観についてあてはまるものを1つ選んでください。

回答項目	人数（人）	割合（%）
計画を知っている・景観に興味がある	34	5.3
計画を知っている・景観に興味がない	19	3.0
計画を知らない・景観に興味がある	370	57.9
計画を知らない・景観に興味がない	127	19.9
その他・分からない	89	13.9
計	639	100.0
無回答	3	

計画を知っている	8.3%
計画を知らない・分からない	91.7%
景観に興味がある	63.2%
景観に興味がない・分からない	36.8%

(5) 景観事業推進ワーキングへ参加

愛知県内の景観行政団体による景観事業推進ワーキングへ参加し、景観行政に関する懸案事項や課題を共有しています。

3 今後の取り組み

景観条例や景観計画の施行後の市政アンケートにより、景観計画を知らない方が多いこと、また、景観に興味がある方が6割以上を占めていることが分かりました。

このことから、まずは、景観への興味や計画の認知度を高めていく必要があると考えており、現状での取り組みを継続するとともに、新たな啓発活動について、他市とも情報共有しながら行っていきます。